

# 夏休みの主なコンテスト等

ご応募  
お待ちしております。

## ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業 ふくしまっ子ごはんコンテスト ～自分の朝食や食習慣を見直してみませんか～

健全な食生活を実践する力(食べる力)の育成を図ることを目的として、「ふくしまっ子ごはんコンテスト」を実施します。小学生は朝食作り、中学生は弁当作りを実践する機会として、みなさんのアイデアがふれる献立を応募してください。

- 応募期間 平成28年7月1日(金)～8月31日(水)
- 最終実技審査 平成28年10月16日(日) 福島県学校給食会(福島市松川) ※小学校上学年の部、中学校の部のみ
- 応募先 各教育事務所学校教育課まで



平成27年度小学校上学年の部  
最優秀作品  
「カルシウムと  
夏野菜たっぷり朝ごはん」



平成27年度中学校の部  
最優秀作品  
「こづゆおにぎりとたっぷり  
夏野菜☆なつかし福島弁当」

※詳しくは、健康教育課のホームページをご覧ください。

## 「ふくしま子ども宣言」作文コンクール

自分の考えを言葉に表すことで、見えてくる心があります。今年のテーマは「命」。小学6年生のみなさんを対象に作文コンクールを実施します。

- テーマ 「命を大切に」
- 応募期間 平成28年7月1日(金)～8月31日(水)
- 対象 県内に在住の小学6年生及び震災等により県外に避難した小学6年生

※詳しくは 福島県教育庁教育総務課 [検索](#)

## モラル・エッセイコンテスト

～あなたの心温まる出来事、  
エピソードを教えてください～

- 応募期間 平成28年7月1日(金)～9月2日(金)
- 対象 県内に住む中学生・高校生・一般の方々

※詳しくは、義務教育課のホームページをご覧ください。

## ふくしまを十七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業

子どもと大人、子どもと子どもが「ペア」になって、日常生活等での共通体験を綴った作品(絆部門)、震災体験、復旧・復興に関する作品(復興部門)を応募してください。また、県外に避難している方も応募できます。

- 応募期間 平成28年7月1日(金)～9月16日(金)
- 応募方法 所定の応募用紙を使用してください。(コピー可)  
※社会教育課のホームページからダウンロードできます。
- 応募先 各学校、市町村教育委員会、公民館、または各教育事務所まで



※詳しくは、社会教育課のホームページをご覧ください。

## 中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

明日の社会の発展を担う優れた人材を育成するため、科学及び技術に関するテーマに基づく研究論文を募集します。

- 募集対象 県内の中学校(含む中部部)・高等学校(含む高等部)の生徒
- 募集期間 平成28年9月1日(木)～9月9日(金)(必着)
- 福島県義務教育課 [検索](#)

## 中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河賞」募集

国際性豊かな人材の育成を目指して、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。

## 高校生等奨学給付金のお知らせ

高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減するため、非課税世帯の方に奨学給付金を給付します。詳細は各学校を通じてお知らせします。  
(今年度は高等学校等1～3年生が対象となります) [福島県奨学給付金](#) [検索](#)

## 福島県奨学生を募集します

来年度入学予定者を対象に「大学等入学一時金」及び「予約採用(高校・大学等)」の奨学生を募集します。詳細は各学校を通じてお知らせします。  
[福島県奨学資金](#) [検索](#)

## ふくしま復興展「ふくしま平安ものがたり」

平安時代の出土品と復元品を通して、優雅な都のイメージとは異なる福島県の平安時代の状況を、子どもにもわかりやすく解説する企画展示です。会期中、関連講演会や展示解説会も開催します。

- 開催期間:平成28年7月23日(土)～9月25日(日)
- 休館日:8/29(月)、9/5(月)、9/12(月)、9/20(火)
- 入館料:無料
- まほろん ☎0248-21-0700

まほろん [検索](#) (「ふくしま平安ものがたり」イメージキャラクター)



## 相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々な悩みに対する相談窓口を開設しています。ひとりで悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方々が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00  
「ダイヤルSOS」 **0120-453-141**  
〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。  
「ふくしま24時間子どもSOS」 **0120-916-024**

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは [福島県教育委員会](#) 広告 [検索](#)

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

おかげさまで大好評! 平成28年4月1日 掛金そのまま 制度改善

# こども型

0歳～18歳のお子様をしっかりサポート!

月掛金は 1,000円 2,000円 選べます

- 日帰り入院や手術を保障
- ケガの通院も1日目から保障
- 第三者への損害賠償にも共済金

※くわしくは県民共済までお問い合わせください。

助けあいの心から生まれた保障

# 県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県認可 **福島県民共済生活協同組合**  
〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル9F  
フリーダイヤル **0120-282-869**  
☎024(524)1400 [受付時間]平日9:00～17:00 [福島県民共済](#) [検索](#)  
共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報紙へのご意見をお寄せください  
k.kouhou@pref.fukushima.lg.jp



ふくしま教育ニュース第46号

平成28年7月7日発行

発行 福島県教育委員会

編集

福島県教育庁教育総務課

福島県福島市杉妻町2番16号

電話(024)521-7759

FAX(024)521-7969

# ふくしま教育ニュース

2016年7月 第46号 編集・発行 福島県教育委員会



## 平成29年4月 「福島県立小高産業技術高等学校」が開校します

小高商業高等学校と小高工業高等学校が統合して、平成29年4月、南相馬市小高区に開校する統合高等学校の校名が「小高産業技術高等学校」に決まりました。

この名称は、小高商業高等学校と小高工業高等学校の生徒、保護者及び教職員から公募し、多数の応募が寄せられた中から選ばれました。地域の発展を担う生徒を育む学校にしたいとの思いが込められています。統合高等学校は、両校の伝統や思いを受け継ぐとともに、福島国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想や地域の復興に寄与する人材を育成する学校です。

これまでの機械科、電気科、流通ビジネス科に加えて、機械科を1クラス増やすとともに、一部学科の改編を行い、環境化学コース、電子制御コース、ICTコース、経済・金融コースからなる「産業革新科」が新たに設置されます。産業革新科では、ロボット工学に関する教育等、専門性の基礎となる知識や実践的な技術を身に付ける先端技術教育を行います。

相双地方及び県民の皆さまに愛される学校となるよう開校に向けた諸整備を進めてまいります。

### 小高産業技術高等学校の学科編成

相双地方とともにある学校づくり、小高ならではの教育を展開します  
機械科1クラスを増設、産業革新科(工業系1クラス、商業系1クラス)を新設

大学科「工業科」		大学科「商業科」	
機械科 (2クラス) ※1クラス増設	電気科 (1クラス)	産業革新科 (工業系) (1クラス) 新設	産業革新科 (商業系) (1クラス) 新設
		環境化学コース	電子制御コース
		ICTコース	経済・金融コース
		流通ビジネス科 (1クラス)	



内堀知事が校名を発表

## ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業 ～医療体験セミナー～

県内の中学生を対象に、医療への関心、医療で人々を助けたいという意識を高めていくことをねらいとして、医療に関する様々な仕事について説明を受けたり体験をしたりするセミナーを開催します。医師からのミニ講演、そして医師、看護師、薬剤師、作業療法士、医療機器メーカー等、数多くの医療体験ブースを用意しております。なお、このセミナーは、今年度初めての取組です。

- 対象 県内中学1～3年生
- 期日 平成28年8月11日(木) ※祝日
- 会場 ビッグパレットふくしま コンベンションホール

※詳しくは、学校で配られる「チラシ」や「参加者募集要項」、または福島県教育庁義務教育課のホームページをご覧ください。

中学生の  
参加者募集



平成28年度

# インターハイ選手特別強化事業・指定証交付式

5月24日(火)、福島テルサにおいて「平成28年度インターハイ選手特別強化事業・指定証交付式」を開催しました。式では、鈴木教育長が39校68部の強化拠点校と98名の強化指定選手及び指導者の各競技代表に、指定証を交付しました。鈴木教育長の「今年はもちろん、来年度に繋がる活躍を期待しています。」というあいさつがあり、その後、福島県高等学校体育連盟の長岐博会長と公益財団法人福島県体育協会の片平俊夫副会長より「将来、世界へはばたくトップアスリートが誕生することを期待しております。」と激励の言葉をいただきました。

最後に、選手を代表して福島工業高等学校ウエイトリフティング部の穴戸大輔選手が、「よりよい練習環境を整えていただいたことに感謝し、精一杯練習に取り組んでいきます。」と力強く決意を述べました。



あいさつをする鈴木教育長



決意表明をする穴戸大輔選手

## 福島県算数・数学ジュニアオリンピック 2016

県内の小・中学生を対象に、活用する力を試す問題にチャレンジする算数・数学ジュニアオリンピックを今年も開催します。

**対象** 小学生の部(5、6年生)、中学生の部(1~3年生)

**期日** 平成28年10月23日(日)

**会場** 県内7会場 (福島大学、郡山女子大学、白河合同庁舎、会津大学、御蔵入交流館、鹿島農村環境改善センター、いわき光洋高等学校)

**表彰** 金メダル、銀メダル、銅メダル、奨励賞

**申込** 8月29日(月)までに、通学している学校に「参加申込書」「返信用封筒」を提出してください。

※詳しくは、福島県教育庁義務教育課のホームページをご覧ください。

小・中学生の  
参加者募集



合同表彰式での記念撮影



メダルを授与された子どもたち

## 学びを通じて地域コミュニティの再生を目指します!

### 放課後子ども教室推進事業

- 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得ながら、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行う放課後子ども教室の推進に取り組んでいます。
- 現在、県内36市町村等116教室で事業を実施しています。



白河市おのだなかよし教室 「お月見さま」のお話



北塩原村学校支援地域本部 さくら小学校自然体験教室

### 学校支援地域本部事業

各学校のニーズに応じて、地域ボランティアの方々との協力を得ながら、授業の支援や読み聞かせ、登下校の見守り、部活動支援、環境整備等を実施しています。学校と地域との連携を深め、地域全体で学校教育を支援する取組は、いわば「学校の応援団」とも言えます。現在、県内22市町村46本部で事業を実施しています。

## 宇宙教育フォーラム・研修会

5月22日(日)、福島県立美術館・図書館を会場に教育関係者など約130名を集め「宇宙教育フォーラム・研修会」を開催しました。

「宇宙と子どもたちの未来」と題した講演では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の的川泰宣名誉教授が「燃料(夢や好奇心)は、子どもの心の中にある。子どもの心に火をつけることが未来を拓いていくことにつながる。」と熱く語られました。

研修会では、宇宙にまつわる書籍の紹介やJAXA職員による教育関係者等を対象とした宇宙航空の素材や教材の活用法についての演習を行いました。



的川氏による講演



研修会の様子

## 第4回特別支援学校作業技能大会 ～夢に向かってテクノチャレンジ2016～



喫茶接遇サービスの様子

県内の特別支援学校高等部の生徒が一堂に会して、「作業技能検定部門」「作業製品品評部門」「デモンstrーション部門」の3部門において、日ごろの学習の成果を発表します。この大会は、外部専門家からの客観的な評価を受けることで、生徒の自立と社会参加につながる学力や技能・意欲の向上を図ることを目指しています。

今回は、来年度設けられる新種目「品だし」「パッケージ」のデモンstrーションも行います。7月27日(水)にビッグパレットふくしまで開催されますので、ぜひお越しください。

## 特別な支援を必要とする幼児児童生徒の指導支援の充実に向けて

県教育委員会では、幼稚園、小・中学校、高等学校、各市町村教育委員会等のニーズに応じた相談支援と研修支援を実施しています。各学校等における特別支援教育の充実に向けて取り組み、「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進していきます。

